

# 環境経営レポート

2024 年度版

【2024 年 8 月 1 日～2025 年 7 月 31 日】

発行日：2025 年 10 月 23 日



株式会社岡部機械工業

## 目次

1. 組織の概要	-----	P1
2. 環境経営方針	-----	P2
3. SDGs取組方針	-----	P3
4. 環境経営システム組織図	-----	P4
5. 2024年度環境経営目標	-----	P5
6. 環境経営計画と取組内容	-----	P6～P8
7. その他の取組	-----	P9～P15
8. 14期環境経営目標と実績のまとめ、14期の評価と15期の取組	-----	P16～P18
9. 環境関連法規等の遵守状況	-----	P19
10. 代表者による全体評価と見直し	-----	P20

## 1. 組織の概要

- (1) 事業者名及び代表者名  
株式会社 岡部機械工業  
代表取締役 星場俊之

- (2) 所在地  
認証・登録対象組織

本社	徳島県阿南市才見町旭越山 25-1
才見工場	徳島県阿南市才見町旭越山 12-1
上中工場	徳島県阿南市上中町南島 221-1
橘湾事業所	徳島県阿南市橘町小勝 3 番地 電源開発(株)内
小松島出張所	徳島県小松島市豊浦町 1 日本製紙(株)内

- (3) 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先  
環境管理責任者 管理部：岡部さおり TEL：0884-22-2750  
環境事務局 管理部：土佐野絵里 TEL：0884-22-2750

- (4) 事業内容  
自動省力化機械・各種産業機械の設計・製作・据付工事  
機械装置等製造業、建設業(機械器具設置工事業、鋼構造物工事業、  
管工事業、とび・土工工事業、電気工事業)

- (5) 事業の規模(14 期末時)
- |           |                      |
|-----------|----------------------|
| 資本金       | 20 百万円               |
| 売上高       | 11.4 億円/年            |
| 従業員       | 89 名                 |
| 工場建物延べ床面積 | 3,760 m <sup>2</sup> |
- (6) 事業年度 8 月～7 月

## 環境経営方針

### 基本理念

私たち 株式会社 岡部機械工業は、自然と環境を大切に、持続可能な社会の実現を目指します。

機械の設計・製作を通じて、エネルギー省力化を目指し、安全・安心の自動省力化機械の提供に取り組むことで、社会全体の環境負荷削減に取り組みます。

また、産業機械の分解・点検・修理を行うことにより、今あるものを長く安全に使用することで、持続可能な社会に貢献していきます。

以上のことに取り組みながら、すべての利害関係者の方々に感謝し行動します。

### 方針

1. お客様に満足いただける製品を提供し、利益を生みながらも環境影響を考慮し、SDGsを目指した企業活動に取り組みます。環境に対する関心度を高めて、さらなる省エネ・省資源対策の徹底を実践します。
  - ・二酸化炭素排出量（電気・燃料 使用量）の削減
  - ・水使用量の削減
  - ・廃棄物の削減
  - ・コピー用紙使用量の削減
  - ・化学物質の適正管理
  - ・グリーン購入の推進
  - ・環境に配慮した製品・サービスの提供並びに施工
2. 環境関連の法令、規制、協定等を遵守し、顧客、地域社会に対して負の影響を及ぼさない事業活動を行います。
3. 社会貢献に努めます。
  - ・会社周辺の清掃活動の実施
  - ・災害時の避難受入れ
4. 環境経営システムを定期的に見直し、継続的に改善を図ります。
5. 社員全員がこの方針を理解するとともに、実践することで環境に対しおもいやりを持ちます。
6. この方針は、ホームページ等で一般に公表し、環境活動に活かします。

制定日： 2009年10月30日

改訂日： 2020年11月20日

株式会社 岡部機械工業

代表取締役 星場俊之

# 株式会社岡部機械工業 SDGs 取組方針

## 《理念》

当社は持続可能な開発目標「SDGs」に賛同し、その目標達成に向けて企業の社会的責任を自覚しながら主体的に取り組んでまいります。

## 《取組方針》

### 1. 魅力のある地域社会実現への取組み

社会貢献活動や環境保全などの取組みによって、地域の人々が安心して生活できる持続可能な社会の実現を目指します。

### 2. 経済活動による健全な発展と環境活動への取組み

当社の事業活動を通じて、地域経済の発展に貢献すると共に、環境影響の低減を目指します。

## 【当社の SDGs の取組み】

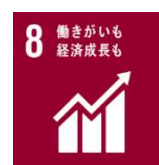
★海岸や会社周辺の清掃活動と環境保全活動



★クリーンエネルギー（再生可能エネルギー）の創出および活用



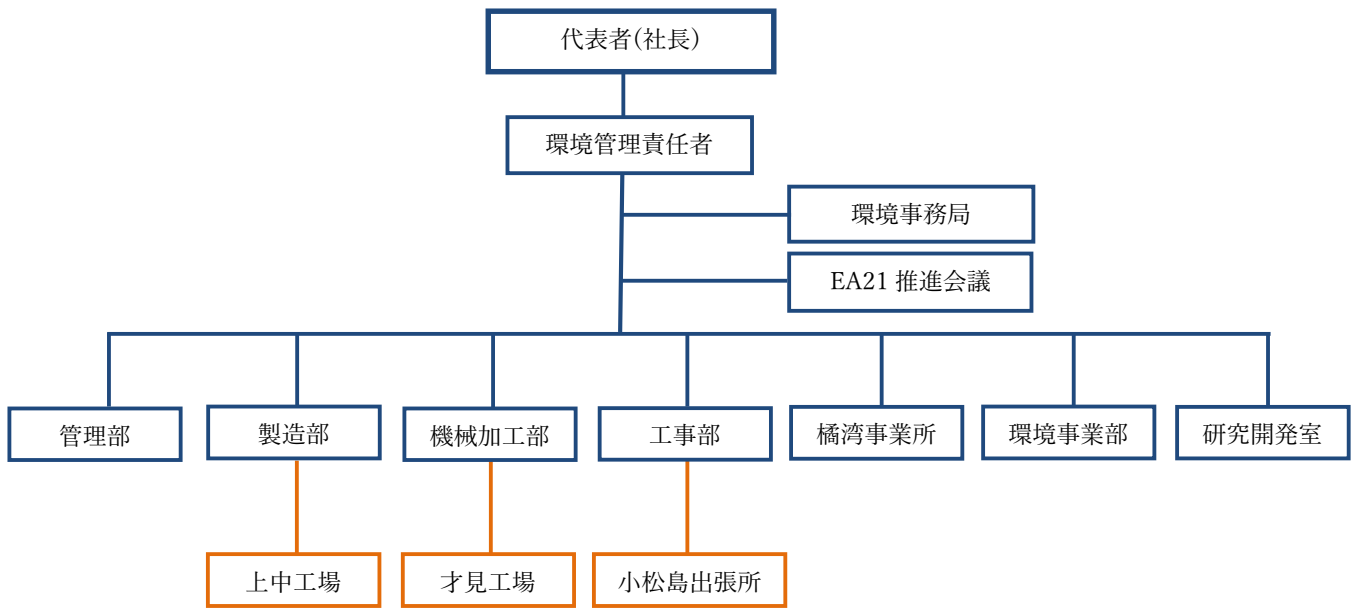
★「健康経営優良法人」の認定



★地方から全国に向けての事業の取組み発信



#### 4. 環境経営システム組織図



※全組織・全活動を認証・登録の対象範囲とする。

	役割・責任・権限
代表者（社長）	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営に関する統括責任</li> <li>資源の準備（人員、設備、費用等）</li> <li>環境経営方針の策定・環境管理責任者を任命</li> <li>代表者による全体の評価・見直し</li> <li>環境経営レポートの承認</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営システムを構築・実施・管理</li> <li>環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施</li> <li>「環境関連法規制一覧表及び遵守チェック表」の作成並びに遵守チェック</li> <li>環境経営目標及び環境経営計画書の作成</li> <li>環境経営計画の実績集計</li> <li>環境経営の取組結果を代表者へ報告</li> <li>環境経営レポートの作成</li> </ul>
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>EA21 推進会議の事務局</li> <li>「環境関連法規制一覧表及び遵守チェック表」の作成並びに遵守チェック</li> <li>特定された緊急事態への対応のための手順書作成、テスト・訓練・記録</li> <li>環境関連の外部コミュニケーションの窓口</li> </ul>
EA21 推進会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>EA21 推進会議の実施</li> <li>環境関連の勉強会の開催</li> <li>EMS の実施とスパイラルアップ</li> <li>EA21 推進会議の記録と周知</li> <li>内部監査の実施</li> </ul>
部門長	<ul style="list-style-type: none"> <li>自部門における環境経営システムの実施</li> <li>自部門における環境経営方針の周知、教育訓練の実施</li> <li>自部門に関連する環境経営目標及び環境経営計画の実施及び達成状況の報告</li> <li>特定された項目の手順書作成及び運用管理</li> <li>自部門の問題点の発見・是正・予防処置</li> </ul>
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営方針の理解と環境への取組の重要性を自覚</li> <li>決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加</li> </ul>

## 5. 2024 年度 環境経営目標

環境経営目標【全社】 ※環境経営目標は当社 8 期から 13 期（2018.8～2024.7）の平均を基準とした。

項 目		8期から 13期平均	14期 目標	15期 目標	16期 目標	17期 目標	18期 目標	
		2018.8～ 2024.7	2024.8～ 2025.7	2025.8～2026.7	2026.8～ 2027.7	2027.8～ 2028.7	2028.8～ 2029.8	
電力使用量	kWh	218,170 (基準)	215,988 (99%)	213,807 (98%)	211,625 (97%)	209,443 (96%)	207,262 (95%)	
燃料使用量	ℓ	21,420 (基準)	21,206 (99%)	20,992 (98%)	20,777 (97%)	20,563 (96%)	20,349 (95%)	
CO <sub>2</sub> 排出量	kg-CO <sub>2</sub>	164,856 (基準)	163,207 (99%)	161,559 (98%)	159,910 (97%)	158,262 (96%)	156,613 (95%)	
廃棄物	一般 廃棄物	kg	5,184 (基準)	5,132 (99%)	5,080 (98%)	5,028 (97%)	4,977 (96%)	4,925 (95%)
	産業 廃棄物	kg	18,091 (基準)	17,910 (99%)	17,729 (98%)	17,548 (97%)	17,367 (96%)	17,186 (95%)
水使用量	m <sup>3</sup>	584 (基準)	578 (99%)	572 (98%)	566 (97%)	561 (96%)	555 (95%)	
化学物質 使用量	kg	490 (基準)	485 (99%)	480 (98%)	475 (97%)	470 (96%)	466 (95%)	
グリーン 購入推進	品	100% (基準)	100%	100%	100%	100%	100%	
環境に配慮した製品、 サービスの提供及び施工		227 (基準)	227	227	227	227	227	
事務所周辺の清掃活動 (回/年)		12回	12回	12回	12回	12回	12回	
経営戦略		12回	12回	12回	12回	12回	12回	

- ・対象事業所は全事業所とする。 ・CO<sub>2</sub> 調整後排出係数：0.454 (kg-CO<sub>2</sub>/kWh) （四国電力株式会社 2022 年度）
- ・グリーン購入推進の目標については、グリーン購入したことのある対象品目に対して 100%達成を目指す。

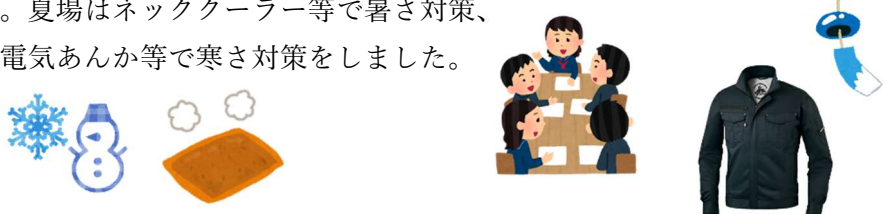

環境経営目標【建設工事】 ※環境経営目標は当社 8 期から 13 期（2018.8～2024.7）の平均を基準とした。

項 目		8期から 13期平均	14期 目標	15期 目標	16期 目標	17期 目標	18期 目標	
		2018.8～ 2024.7	2024.8～ 2025.7	2025.8～2026.7	2026.8～ 2027.7	2027.8～ 2028.7	2028.8～ 2029.8	
CO <sub>2</sub> 排出量	kg-CO <sub>2</sub>	19,467 (基準)	19,272 (99%)	19,078 (98%)	18,883 (97%)	18,688 (96%)	18,494 (95%)	
燃 料	ガソリン	ℓ	547 (基準)	542 (99%)	536 (98%)	531 (97%)	525 (96%)	520 (95%)
	軽油	ℓ	6,837 (基準)	6,769 (99%)	6,700 (98%)	6,632 (97%)	6,564 (96%)	6,495 (95%)
産 業 廃棄物	kg	431.9 (基準)	427.6 (99%)	423.3 (98%)	418.9 (97%)	414.6 (96%)	410.3 (95%)	
化学物質 使用量	kg	35.4 (基準)	35.1 (99%)	34.7 (98%)	34.4 (97%)	34.0 (96%)	33.7 (95%)	

※ 建設工事の電気・水道等は他企業と共用で把握できない為、廃棄物・燃料・化学物質を管理する。

- ・CO<sub>2</sub> 調整後排出係数：0.454 (kg-CO<sub>2</sub>/kWh) （四国電力株式会社 2022 年度）

## 6.環境経営計画と取組内容

電力の削減	
デマンド削減の取組を引き続き行う	エアコンのスイッチを入れる際には、声かけをしたり、時間札を表示する等し、時間差でオンにするようデマンド対策を継続しています。夏場は熱中症対策をしながら工夫していました。
夏季の暑さ対策として作業服の変更、冬季の重ね着等の工夫を行う	涼しくて動きやすい作業服を皆で選定し、変更しました。また、ポロシャツも導入し、仕事内容に応じて使い分け出来るようになった事でクールビズが実現出来ました。夏場はネッククーラー等で暑さ対策、冬場は電気あんか等で寒さ対策をしました。 
カーボンニュートラルへの取り組み	近隣で不要になった「蓄電池」を購入しました。災害時に役立てるように使用していきたいと思えます。
改善提案など意見を集めて環境負荷削減の模索	Windows10 サポート終了に伴う廃棄パソコンを、リサイクル業者へ排出する事で産業廃棄物を削減したり、廃材を利用した備品の製作等も改善で見られました。
燃料の削減	
仕事内容を考え最適な車種を選択	現場へ行く際は乗り合わせや用途に合わせた車種選択をしています。
急発進、急加速の抑制	各部署で継続してエコドライブを実施しています。
不必要な荷物は積まない	不要な荷物は置かないように毎朝、車両の清掃をしています。
エコドライブの継続的な情報提供	毎月の環境データを社内イントラネットで周知する際や、月毎の掲示板にエコドライブについて定期的な周知をしています。 
車両の適正な整備と管理	乗車時に気付いた事があればすぐに連絡し、不具合は修繕しています。
一般廃棄物の削減	
ダンボールの廃棄ルールの徹底	ダンボールを捨てる際はテープを剥がす等ルールを徹底し、地域の富岡小学校の廃品回収に協力しています。
会社全体での3Rの実行	緩衝材の再利用や、廃材での棚や道具作りは定着しています。今期より、製紙会社への牛乳パックのリサイクルも、皆の声から回収が始まりました。
ペーパーレス化	情報は電子で公開したり、メールでやり取りする事が増えています。全体では前期に比べ3.3%使用量が減少、中には12.5%削減された部門もありました。
必要のないカタログは受け取らない、電子化	HPや電子カタログがあるかを聞き、郵便物の削減をお願いしています。

産業廃棄物の削減	
会社全体での 3R・5S の実行	9月に才見工場から有価物の排出が 850kg ありました。年に 4 回全部門が集まって 5S 委員会を開き、日頃の 5S 実施状況について話し合いをしています。各部に合った 5S チェックリストを作成し、今期は各部を巡回して相互チェックを行いました。継続していきます。
無駄な資材、機材を購入しない	大量買いせず、必要分だけ購入するようにしています。客先からのサンプル品等は引き取ってもらうように継続しています。
整理して廃棄する	廃棄する際は、混在しないようにできるだけ種類別に廃棄するようにしました。
先入れ、先出しの徹底	化学物質では保管場所、状況、数量の確認を行い、三定管理の実施ができていました。
水使用量の削減	
蛇口締め忘れ防止の徹底	締め忘れはありませんでした。
環境にやさしい洗剤の選定	毎日の清掃や大掃除の際も、@除菌や電解水の利用が定着しています。強力洗剤が欲しいという要望があっても、環境に優しい代替品を勧めました。
用途に応じた地下水の利用	地下水と上水の使い分けを周知し、植木の散水には地下水を使用するなど用途に応じた使用ができていました。
水道設備の管理、手入れ	定期的に巡視を行い、目視点検や現場聞き取りにより、不具合があればすぐに対応するようにしていましたが、期末に上中工場水道ホースの故障で水漏れが発生してしまいました。
化学物質使用量の削減	
在庫管理の確認を徹底する	衛生委員会で化学物質管理者から使用状況等の意見徴収を行いました。保管場所、状況、数量確認を行い、三定管理出来ていました。残量が少量のものは手前に置き、先に使用するなど工夫しています。
SDS 確認を徹底する	新たな購入品については取り寄せしています。 又、労働局から送られてきた「変異原性が認められた化学物質について」というリーフレットを展開し、一覧表にある化学物質を使用していないかどうか、各部に確認してもらいました。結果、使用はしておりませんでした。
リスクアセスメントを実行する	8月に各部門で化学物質のリスクアセスメントを行いました。
緊急時漏洩訓練の実施	2024年10月17日、本社にて漏洩訓練を行い、46名が参加しました。 必ず保護具を着用し、適切に拭き取り、絶対に外に洩らさないという一連の作業を行う事で、普段の業務での安全作業に繋がっています。

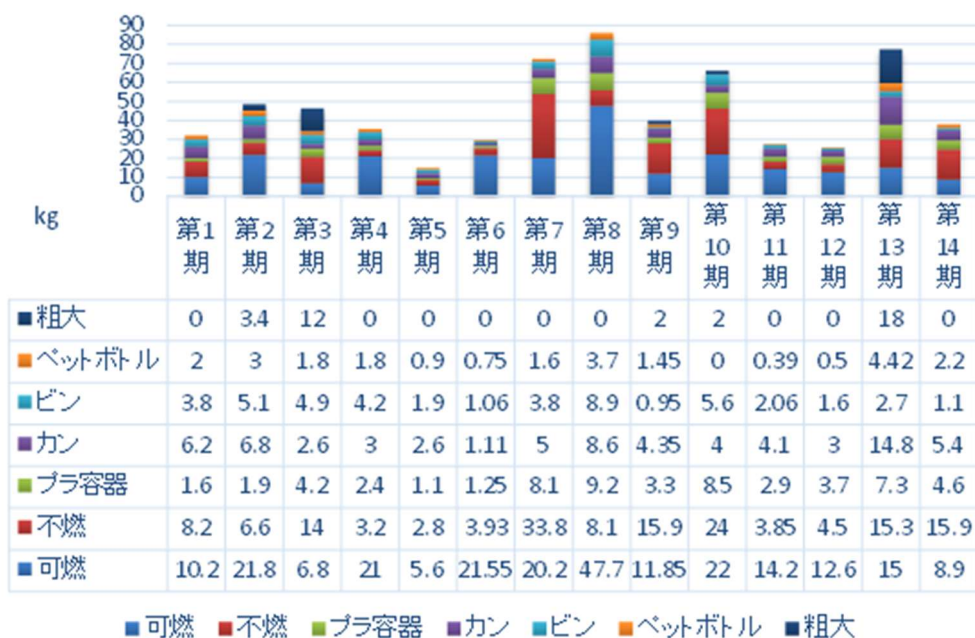
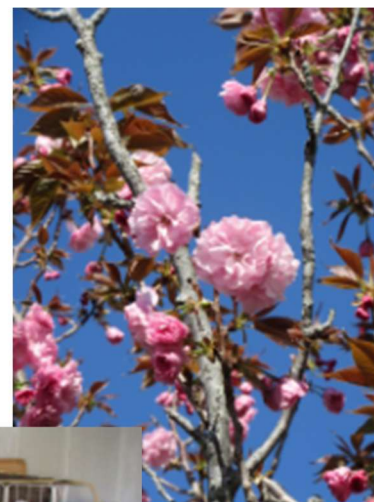


最終処分の確認	SDSを確認し、処分に合った業者へ委託して廃棄しています。
グリーン購入の推進	
グリーン対象商品購入数集計	集計実施。プラ製品の購入は出来るだけ控え、紙（再生紙）製品の購入を心掛けています。テープはビニールテープから紙テープの使用が増えています。
グリーン対象商品の周知	エコマーク事務局等のグリーン購入法品目等で該当する物はないか確認し、内部監査で情報展開しました。スティックのりは該当するものが多いようです。
部署単位での商品の検討	購入時はマークを確認し、グリーン購入品目となれば定着購入をしています。
環境配慮製品の開発・販売促進	
環境に配慮した提案、設計、施工を行う	お客様との打ち合わせ時は、環境負荷の低い材料の選定や効率を考えた立案を心掛けています。
環境に関する教育、周知を行う	EA21 推進会議時には持ち回りで環境に関する勉強会を継続しています。改善提案活動の改善テーマに「～すると環境にやさしい」を設定したところ、いくつか省エネの改善提出があり、展開しました。
環境に関するアイデアの探求	9月の「脱炭素大作戦」イベントでは、EA21 推進会議メンバーを含むグループ討議により、二酸化炭素削減についてアイデアを出し合いました。会社作業服の一斉変更により、廃棄する大量の作業服についても回収サービスはないか等、廃棄物削減に向けて積極的に取り組みしています。

## 7.その他の取組

### 会社周辺の清掃活動の実施(毎月1回実施)

	2024 /08	2024 /09	2024 /10	2024 /11	2024 /12	2025 /01	2025 /02	2025 /03	2025 /04	2025 /05	2025 /06	2025 /07
参加人数 (人)	34	11	37	20	28	12	35	17	34	21	40	25
総重量 (kg)	4.3	1.35	5.3	2.65	2.2	0.6	8.6	2.3	3.0	1.2	2.3	4.2

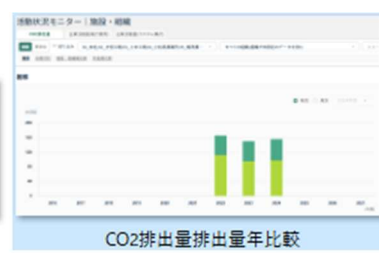
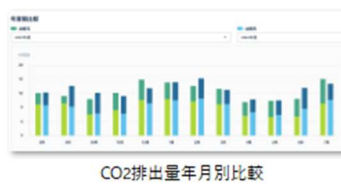


昨年の半分まで量が減りました。まだ定期的に捨てられるゴミはありますが、地域の皆さんと一緒にきれいなまちづくりを目標に、これからも活動していきます。



 <p>3 すべての人に健康と福祉を</p>	<p><u>3.6 世界の道路交通事故による死傷者を半減させる</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全社有車にドライブレコーダーを設置</li> <li>・アルコールチェッカーによる毎日の検査を行い安全運転を徹底</li> <li>・社有車の点検、洗車の外部委託</li> <li>・通勤車両の各種保険、通勤マップの確認</li> <li>・事故時は対策会議を実施</li> </ul> <p><u>3.9 2030年までに、有害化学物質、並びに大気、水質及び土壌の汚染による死亡及び疾病の件数を大幅に減少させる</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・化学物質使用部門でのリスクアセスメント実施</li> <li>・保護具着用管理責任者、化学物質管理者の任命</li> <li>・漏洩時訓練の実施</li> <li>・月例 安全パトロールの実施</li> <li>・在庫管理の徹底</li> </ul> <p><u>3.a すべての国々において、たばこの規制に関する世界保健機関枠組条約の実施を適宜強化する。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・禁煙を支援する為に禁煙外来の受診費用・薬代金を会社が補助する取組を始めました。</li> </ul>
 <p>4 質の高い教育をみんなに</p>	<p><u>4.5 2030年までに教育におけるジェンダー格差を無くし、障がい者、先住民及び脆弱な立場にある子供など脆弱性があらゆるレベルの教育や職業訓練に平等なアクセスができるようにする。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インターンシップ(阿南光高等学校)・段ボール回収 (富岡小学校 廃品回収 阿南古紙 様)</li> </ul>
 <p>5 ジェンダー平等を実現しよう</p>	<p><u>5.1 あらゆる場所におけるすべての女性及び女兒に対するあらゆる形態の差別を撤廃する。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「えるぼし」認定の継続 行動指針に『女性技術者を2名以上』を目標に掲げていましたが、現在は5名になりました。</li> </ul> <p><u>5.2 人身売買や性的、そのほかの種類の子供の搾取など、すべての女性及び女兒に対する、公共・私的空間におけるあらゆる形態の暴力を排除する。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ハラスメント予防リーフレットを毎月配布</li> <li>・「ハラスメントは許しません！」と社内外へ宣言 (パワハラ・セクハラ・カスハラ) し、就業規則を改定しました。</li> </ul> <p><u>5.4 公共のサービス、インフラ及び社会保障政策の提供並びに各国の状況に応じた責任分担を通じて、無報酬の育児・介護や家事労働を認識評価する。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・男性の育児休業取得率 現在 100%</li> <li>・育児休業、介護休業における復帰支援</li> </ul>  <p><u>5.5 政治、経済、公共分野でのあらゆるレベルの意思決定において、完全かつ効果的な女性の参画及び平等なリーダーシップの機会を確保する。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・業種別の女性の管理職率 製造 (はん用機械) 全国平均 4.1% に比べて 当社 18.8%</li> </ul>
 <p>6 安全な水とトイレを世界中に</p>	<p><u>6.3 汚染の減少、投棄の廃絶と有害な化学物・物質の放出の最小化、未処理の排水の割合半減及び再生利用と安全な再利用の世界的規模で大幅に増加させることにより、水質を改善する。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年に一度、化学物質の漏洩訓練を実施</li> </ul> <p><u>6.4 全セクターにおいて水利用の効率を大幅に改善し、淡水の持続的可能な採取及び供給を確保し水不足に対処するとともに水不足に悩む人々の数を大幅に減少させる。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・節水、日常点検の呼びかけ</li> <li>・本社敷地の地下水を植木の散水に利用</li> </ul>

 <p>7 エネルギーをみんなに もってクリーンに</p>	<p>7.3 世界全体のエネルギー効率の改善率を倍増させる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エコアクション 21 での電力使用量、料金を毎月全社内へ展開</li> <li>・毎日のデマンド管理 ・エアコン使用時はサーキュレーターも併用</li> <li>・直射日光はできるだけ遮熱</li> </ul> <p>7.a 再生可能エネルギー、エネルギー効率及び先進的かつ環境負荷の低い化石燃料技術などのクリーンエネルギーの研究及び技術へのアクセスを促進するための国際協力を強化し、エネルギー関連インフラとクリーンエネルギー技術への投資を促進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本社 屋上他 計 3 か所に太陽光発電設備を保有、メンテナンスを行っています</li> </ul>
 <p>8 働きがいも 経済成長も</p>	<p>8.5 若者や障がい者を含むすべての男性及び女性の、完全かつ生産的な雇用および働きがいのある人間らしい仕事、並びに同一労働同一賃金を達成する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インターンシップ受け入れ 及び 雇用促進</li> <li>・就業・生活支援センターへの協力依頼</li> </ul> 
 <p>9 産業と技術革新の 基盤をつくろう</p>	<p>9.2 包摂的かつ持続可能な産業化を促進し、各国の状況に応じて雇用及び GDP に占める産業セクターの割合を大幅に増加させる。後発開発途上国については同割合を倍増させる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究開発室での画像処理技術 開発</li> </ul>
 <p>10 人や国の不平等 をなくそう</p>	<p>10.3 差別的な法律、政策及び慣行の撤廃、並びに適切な関連法規、政策、行動の促進などを通じて、機会均等を確保し、成果の不平等を是正する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・女性の育児休業 100%取得の為に、「育児支援シート」を作成 男性の育児休業該当者にも配布し、声かけ、面談、フォローをしています。</li> </ul>
 <p>11 住み続けられる まちづくりを</p>	<p>11.3 包摂的かつ持続可能な都市化を促進し、すべての国々の参加型、包摂的かつ持続可能な人間居住計画・管理の能力を強化する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣の会社と共に、会社周辺ゴミ拾いを毎月一回実施・分別廃棄しています。</li> </ul> <p>11.7 女性、子供、高齢者及び障がい者を含め、人々に安全で包括的かつ利用が安易な緑地や公共スペースへの普遍的アクセスを提供する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・才見工場内に 市が「防災倉庫」を設置、本社は『阿南市指定緊急避難場所』に指定されており、近隣住民用の備えをしています</li> </ul>
 <p>12 つくる責任 つかう責任</p>	<p>12.4 合意された国際的な枠組みに従い、製品ライフサイクルを通じ、環境上適正な化学物質や全ての廃棄物の管理を実現し、人の健康や環境への悪影響を最小化するため化学物質や廃棄物の大気、水、土壌への放出を大幅に削減する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・化学物質の在庫管理(SDS 管理) ・化学物質管理者、保護具着用管理責任者の任命</li> <li>・漏洩訓練の実施</li> <li>・15 期、「中小企業向け SBT」取得に向けて、CO<sub>2</sub>排出量算定・削減支援クラウドサービス『サスタナ』に登録。月別・年別で燃料と電気による CO<sub>2</sub>排出量をモニタリングし、削減活動に活かしています。</li> </ul>



12.5 廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する。

- ・ ゴミ分別の徹底(パトロール実施)
- ・ 循環資源の管理と推進 (使用済みトナーや電池は量販店へ)
- ・ 製紙会社へ牛乳パックを回収し持参してリサイクル  
【牛乳パック回収 BOX】



12.6 特に大企業や多国籍企業などの企業に対し、持続可能な取り組みを導入し、持続可能性に関する情報を定期報告に盛り込むよう奨励する。

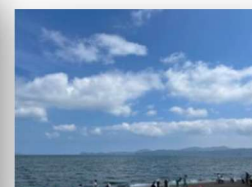
- ・ エコアクション 21 環境経営レポート作成
- ・ 環境経営レポートを自社ホームページで公開し、玄関に設置して持ち帰り可としています。

12.7 国内の政策や優先事項に従って持続可能な公共調達を促進する。

- ・ エコマーク製品、グリーン製品の積極的な購入促進

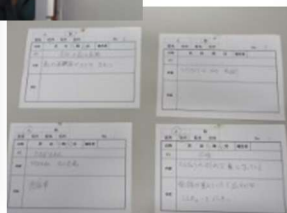
12.8 人々があらゆる場所において、持続可能な開発及び自然と調和したライフスタイルに関する情報と意識を持つようになる。

- ・ 通勤に徒歩や自転車出勤
- ・ 地域のビーチイベントへ参加



13.1 全ての国々において気候関連災害や自然災害に対する強靱性及び適応の能力を強化する

- ・ BCP を策定し、定期的に BCP 図上訓練や避難訓練を実施





13.3 気候変動の緩和、適応、影響軽減及び早期警戒に関する教育、啓発、人的能力及び制度機能を改善す

る。  
 ・『社員みんなで考えよう！岡部機械工業の脱炭素大作戦』と題し、(株)阿波銀行様より二酸化炭素削減についての講習会を開催していただきました。33名参加。グループワークを通して案を出し合い、会社の売電単価はいくらか等、疑問・関心が深まり勉強になりました。



14.1 海洋ごみや富栄養化を含む、特に陸上活動による汚染など、あらゆる種類の海洋汚染を防止し大幅に削減する

・阿南市ビーチクリーン/リバークリーン活動へのボランティア参加を推奨しています。



取組 EA21 推進会議

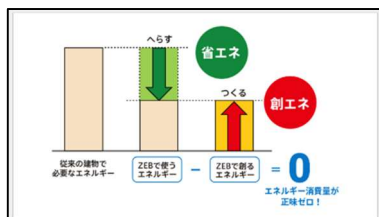
年に2~3回、各部を代表した部員が、会社・家庭での環境への取組についての話し合いや、当番制で勉強会を実施しています。環境への知識や意識を深めていくことが狙いとなっています。今期は 計3回 開催されました。

2024年10月24日(木) 13:00~13:50 12名

- ・EMS記録 13期の反省とまとめ
- ・服のリサイクルについて

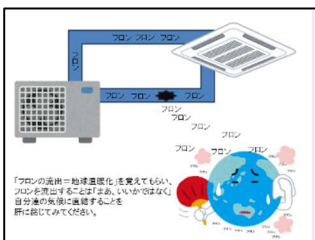


- ・勉強会【脱炭素(産業部門)建設業 ZEB化の取組】  
橋湾事業所 角谷



2025年2月19日(水) 13:00~13:30 11名

- ・14期 上期の反省
- ・環境法令(業務用エアコンなど)

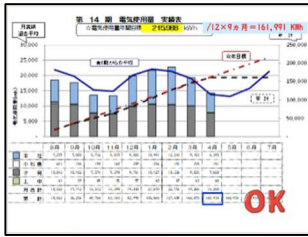


13期 環境経営目標		14期 環境経営目標	
項目	実績	項目	実績
CO2削減率(全体)	100%	CO2削減率(全体)	100%
省エネ率	100%	省エネ率	100%
創エネ率	100%	創エネ率	100%
...	...	...	...

- ・勉強会【生ごみ処理 キューロの記録】  
工事部 島



- ・環境データ9ヵ月分(8月~4月)実績について
- ・エコな毎日(プラスチックを減らすアイデア)



- ・勉強会  
【ハイブリッド車は環境に優しいのか?】  
機械加工部 森

次回車の買い替え時期にはどちらが良いのか迷います。  
みなさんはどう考えますか?

8. 14期環境経営目標と実績まとめ、14期の評価と15期の取組

環境経営実績【全社】 14期 2024年8月～2025年7月

項 目		14期 目標	14期 実績	達成率 (%)	評価
		2024.8～2025.7			
電力使用量	kWh	215,988	211,797	102	○
燃料類	ℓ	21,206	23,177	91	○
CO <sub>2</sub> 排出量	kg-CO <sub>2</sub>	163,207	154,107	106	○
廃棄物	一般廃棄物	kg	3,443	149	○
	産業廃棄物	kg	9,566	187	○
水使用量	m <sup>3</sup>	578.0	573	101	○
化学物質 使用量	kg	485.0	99	490	○
グリーン購入推進	品	100%	100%	100	○
環境に配慮した製品、 サービスの提供及び施工	件	227	263	116	○
事務所周辺の 清掃活動	回	12	12	100	○
経営戦略	回	12	12	100	○

<評価基準> ○：90～100%、△：70～89%、×：70%未満

環境経営実績【建設工事】 14期 2024年8月～2025年7月

項 目		14期 目標	14期 実績	達成率 (%)	評価
		2024.8～2025.7			
CO <sub>2</sub> 排出量	kg-CO <sub>2</sub>	19,272.0	26,264.9	73	△
燃料類	ℓ	7,311.0	10,189.30	72	△
産業 廃棄物	kg	427.6	332.4	129	○
化学物質 使用量	ℓ	35.1	3.26	1077	○

※ 建設工事の電気・水道等は他企業と共用で把握できない為、廃棄物・燃料・化学物質を管理する。

<評価基準> ○：90～100%、△：70～89%、×：70%未満

## 14 期の評価【全社 建設工事】

電力の削減
目標値 215,988kWh のところ 211,797kWh でした。猛暑で厳しい環境でしたが、全員が省エネに取り組み、目標達成出来ました。エアコン使用時はサーキュレーターを設置して空気の流れをよくしたり、照明は LED に交換、デマンド管理の徹底、未使用時のコンセント抜き、服装等各自が工夫して節電に努めました。
燃料の削減
全社目標 21,206L に対し、使用量が 23,177L となり、9.3%のオーバーとなりました。出張が増え、年々使用量が増えてはいますが、乗り合いが出来る場合はなるべく行い、使用車両数を減らす工夫をしています。今期は、社内イントラネットで「エコドライブ」や「タイヤ空気圧チェック」について周知をしました。
一般廃棄物の削減
一般廃棄物排出量は、目標値が 5,132 kg に対し、3,443kg の排出量で、目標の約 67%と大幅に達成する事が出来ました。今期からダンボールは地域小学校の廃品回収に寄付したり、牛乳パックを収集しリサイクルする事を新たに始めました。
産業廃棄物の削減
産業廃棄物排出量は、目標値が 17,910 kg に対し、9,566 kg になり、年目標は大幅にクリア出来ました。産廃回収 BOX に入れる際も、箱の中でなるべく種類別に分ける等、最終処分段階でも分別しやすいように工夫しました。
水使用量の削減
水使用量は、目標値が 578 m <sup>3</sup> に対し、573 m <sup>3</sup> と、何とかクリア出来ました。6 月まで順調に削減出来ていましたが、7 月の水道故障により大幅に流水してしまいました。建物の老朽化もあり、今後の対策検討が必要です。
化学物質使用量の削減
化学物質のリスクアセスメントは毎年 8 月に実施しています。新人の入社時研修の他、毎年 1 回溶剤・油の漏洩訓練も全社員参加で実施継続しています。溶剤の使い過ぎを防ぐために置き方を工夫している部門もあります。今期、労働局より使用する化学物質についての確認文書が来たので確認を行いました。
グリーン購入の推進
プラ製品から紙製品に変更できるものは変更するようにし、増えてきました。一度グリーン購入と認知すれば定着するので、どのような製品があるかを調べ、内部監査や会議で周知するようにしています。
環境配慮製品の開発・販売促進
製品開発、販売促進までは至っていませんが、環境事業の発案を社内で募集し、検討を継続して進めています。銀行様から提案いただいた二酸化炭素削減への勉強会「脱炭素大作戦」を社内で実施し、環境意識の向上に努めました。
経営戦略
採用についてはハローワークだけでなく、ホームページ等の活用や工場見学で技術職を 6 名採用する事が出来ました。そのうち 2 名が技術者の女性で割合を増やしています。シニアの継続雇用についても定年年齢の引き上げを検討し、評価制度も含めて来期の取り組みに繋げています。2022 年に策定した各部門の中期経営計画が中盤となり、改めて目標設定の見直しをしました。既に達成している内容については、新しく具体的な目標設定を作成しています。教育ではハラスメント研修、メンタルヘルス研修、腰痛対策講習、管理栄養士による講習、職長教育追教育、人事評価者研修、技能五輪に向けての技術指導等でスキルや経験を身につけることが出来ました。

15 期の取組【全社 建設工事】

<p><u>電力の削減</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ デマンド削減の取り組みを引き続き行う</li> <li>・ 体調管理に配慮しながら夏季の暑さ対策、冬季の寒さ対策の工夫を行う</li> <li>・ 中小企業向け SBT の取得</li> <li>・ カーボンニュートラルへの取り組み</li> <li>・ 改善提案など意見を集めて環境負荷削減の模索</li> </ul>	<p><u>水使用量の削減</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蛇口の、閉め忘れ防止の徹底</li> <li>・ 環境にやさしい洗剤の選定</li> <li>・ 用途に応じた地下水の利用</li> <li>・ 水道設備の管理、巡視、手入れ</li> </ul>
<p><u>燃料の削減</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 仕事内容を考え最適な車種・ルートを選択</li> <li>・ 急発進、急加速の抑制</li> <li>・ 不必要な荷物は積まない</li> <li>・ エコドライブの継続的な情報提供</li> <li>・ 車両の適正な整備と管理</li> </ul>	<p><u>化学物質使用量の削減</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境に優しい製品を選定する</li> <li>・ 在庫管理を徹底する</li> <li>・ SDS 確認を徹底する</li> <li>・ リスクアセスメントを実行する</li> <li>・ 緊急時漏洩訓練の実施</li> </ul>
<p><u>一般廃棄物の削減</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ダンボール廃棄ルールの徹底</li> <li>・ 会社全体での 3R の実行</li> <li>・ 社内文書のペーパーレス、電子化</li> <li>・ 必要のないカタログは受け取らない、電子化</li> </ul>	<p><u>グリーン購入の推進</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ グリーン対象商品購入数集計</li> <li>・ グリーン対象商品の周知</li> <li>・ 部署単位での商品の検討</li> </ul>
<p><u>産業廃棄物の削減</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会社全体での 3R と 5S の実行</li> <li>・ 無駄な資材、機材を購入しない</li> <li>・ 分別、整理して廃棄する</li> <li>・ 先入れ、先出しの徹底</li> </ul>	<p><u>環境配慮製品の開発・販売促進</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境に配慮した提案、設計、施工を行う</li> <li>・ 環境に関する教育、周知を行う</li> <li>・ 環境に関するアイデアの探求と水平展開</li> </ul>

## 9.環境関連法規等の遵守状況

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	法規の基準・規制値	規制の適用・該当施設	遵守
浄化槽法	・浄化槽設置の届出 ・法定検査、点検、清掃結果の届出	浄化槽	○
騒音規制法	・特定施設の届出 ・地域住民の苦情への対応	圧縮機（県条例 3.75kW 以上） 【徳島県生活環境保全条例】	○
振動規制法	・特定施設の届出 ・地域住民の苦情への対応	圧縮機（県条例 3.75kW 以上） 【徳島県生活環境保全条例】	○
廃棄物処理法	・産業廃棄物の委託契約の締結 ・マニフェストの適正管理 ・廃棄物置き場の保管基準遵守	・一般廃棄物 ・産業廃棄物	○
化学物質排出把握管理促進法	・化学物質の適正な管理	シンナー、塗料類	○
フロン排出抑制法	・フロン類の適切な処理	業務用エアコン、コンプレッサー スポットクーラー、マシニングセン タ、ワイヤ放電加工機	○
労働安全衛生法	・特定化学物質、有機溶剤等を使用する際の作業環境改善	特定化学物質・有機溶剤	○
特定化学物質障害予防規則	・特定化学物質を使用する際の作業環境改善	特定化学物質（使用実績無し）	○
有機溶剤中毒予防規則	・有機溶剤を使用する際の作業環境改善	有機溶剤	○
電波法	・特定施設の届出 ・地域住民の苦情への対応	超音波洗浄機（型式指定）	○
家電リサイクル法	・指定家電の回収処理	テレビ、冷蔵庫、エアコン、洗濯機	○
小型家電リサイクル法	・指定小型家電の回収処理	電話機、デジカメ、PC等	○
自動車リサイクル法	・自動車の回収処理	自動車	○
消防法	・指定数量以上の危険物の保管	軽油等	○
高圧ガス保安法	・高圧ガス置場における保管	酸素、CO <sub>2</sub> 、LPG、アセチレン	○
省エネ法	・原油換算し、使用原油量の把握 ・原油 1500 kL 使用すると特定事業者になり届出が必要	・電気・灯油・燃料 ・特定事業者には該当しない	○
徳島県脱炭素社会の実現に向けた気候変動対策推進条例	・温室効果ガスの排出量の把握 ・温室効果ガス排出の抑制 ・特定事業者は、地球温暖化の防止に関する計画書を作成し、知事に提出	・CO <sub>2</sub> 排出量 ・計画書等は該当しない	○
阿南市環境基本条例	事業者の責務・・・自然環境との調和に配慮しその責任と負担に於いて必要な措置を講じる		○

環境法規制等の逸脱はなく、関係当局より違反等の指摘、並びに訴訟等はありません。

また、関連当局よりの違反等の指摘は過去3年間ありません。

## 10.代表者による全体の評価と見直し・指示

今期も自然災害の大規模化や過去最高の平均気温を更新するなど、脱炭素を主とした環境への取り組みがより一層必要だと感じた一年でした。

当社としては8期（2018年8月～2019年7月）実績を基準とした環境経営目標の各種項目の削減による脱炭素化に取り組んでおり、電気使用量、廃棄物削減、水資源削減において今期の目標を達成しました。ただ、燃料使用量と二酸化炭素排出量は削減目標を達成することが出来ず、業務量に関わらず削減出来るような意識づけが必要だと考えております。

今期新たな取り組みとして、「脱炭素大作戦」を研修として行いました。これは中小企業版 SBT（Science Based Targets）取得に向けた取り組みの一環で、まずは我々が基本的な知識を習得することに加え、参加者それぞれが弊社の技術や経験を活かした形で「脱炭素」に向けて何が出来るかを話し合う貴重な機会となりました。会社の一部のメンバーだけが考えて取り組むのではなく、より多くのメンバーに脱炭素を自分事として考えてもらう事が中長期的に必要なだと考えています。まずは来期の中小企業版 SBT をきちんと取得して、私たちが企業活動で排出する CO2 削減に向け、企業の社会的責任を果たしていく所存です。

最後に、フードバンクとくしまへの寄付や就労支援センター等との協業、牛乳パックの回収や生ごみ処理「キエーロ」の活動など、事業活動には直接関係の無いところなどでも、自主的な取り組みをしているメンバーが増えていることを特筆させて頂きたいと思います。これらの行動、活動が全社に拡がり、また地域に拡がっていくことを願っています。

株式会社岡部機械工業

代表取締役 星場 俊之



環境経営方針	変更有	課題とチャンスの見直しに伴い変更する。
環境経営目標・計画	変更無	—
実施体制	変更有	社内効率を考え、組織を変更する。